

長野市立地適正化計画見直しに係る 検討部会の設置について

第78回 長野市都市計画審議会

令和3年2月10日

都市整備部 都市政策課

1. 立地適正化計画とは

立地適正化計画は、コンパクトなまちづくりを実現するため、居住機能や医療・福祉・教育・公共交通のさまざまな都市機能の誘導を図るものであり、ある一定規模以上の行為(建築等)において、事業者へ届出を義務付けるものである。

また、本計画は本市が目指す都市構造を実現するためのアクションプランであることから、都市計画マスタープランの一部として位置づけられています。



■上位計画との関係

2. 誘導区域について

●居住誘導区域

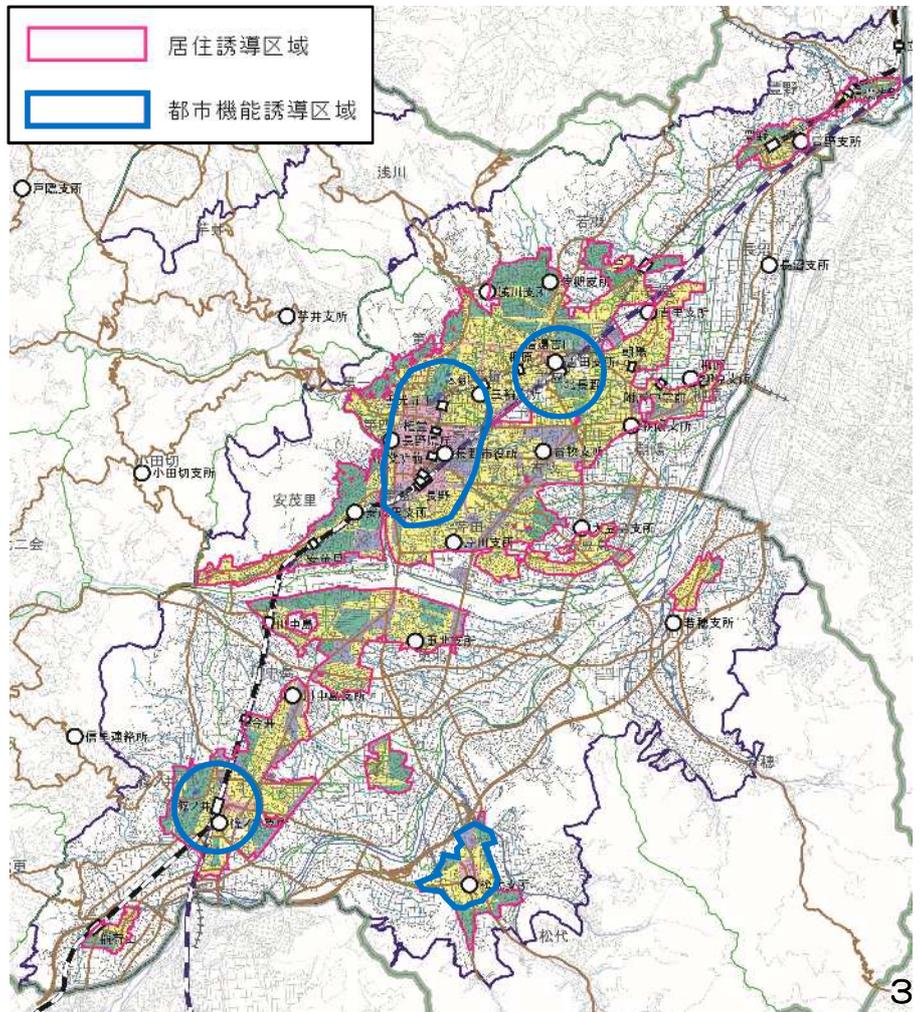
人口減少が懸念される将来においても、現在の市民生活が維持できるよう居住を誘導する区域を定める。

→市街化区域のうち工業系用途地域などを除いた概ね9割程度を指定

●都市機能誘導区域

都市計画マスタープランで定めた「広域拠点」及び「地域拠点」に定める。

→長野・篠ノ井・松代・北長野の4地区で設定。



3. 都市機能誘導区域に誘導する施設

区域	都市機能誘導施設
長野地区 (広域拠点)	教育機能（大学・専門学校等） 子育て支援機能（長時間・一時預かり施設等） 文化機能（美術館）
篠ノ井地区 (地域拠点)	教育機能（大学・専門学校等） 子育て支援機能（長時間・一時預かり施設等） 文化機能（図書館）、福祉施設（老人福祉センター）
松代地区 (地域拠点)	教育機能（大学・専門学校等） 子育て支援機能（長時間・一時預かり施設等） 文化機能（博物館）
北長野地区 (地域拠点)	教育機能（大学・専門学校等） 子育て支援機能（長時間・一時預かり施設等）

施設集約による各種サービスの効率化

子育て、教育、医療、福祉施設の利用環境向上

都市機能誘導区域に立地した都市機能誘導施設

長野地区 清泉女学院大学（看護学部）、県立長野大学

篠ノ井地区 篠ノ井総合市民センター（支所、公民館、老人福祉センター） など

4. 計画の評価・検証について

立地適正化計画はコンパクトな街づくりを実現するためのアクションプランとしての位置づけから、社会情勢等の変化に適時適切に対応できるよう、概ね5年ごとに計画の内容や誘導施策について評価・検証を行います。

評価・検証の結果、社会情勢の変化や関連する計画の見直し等により、見直しの必要性がある場合には、立地適正化計画の変更を検討します。



■ PDCAサイクルのイメージ



5

5. 長野市立地適正化計画の見直しについて

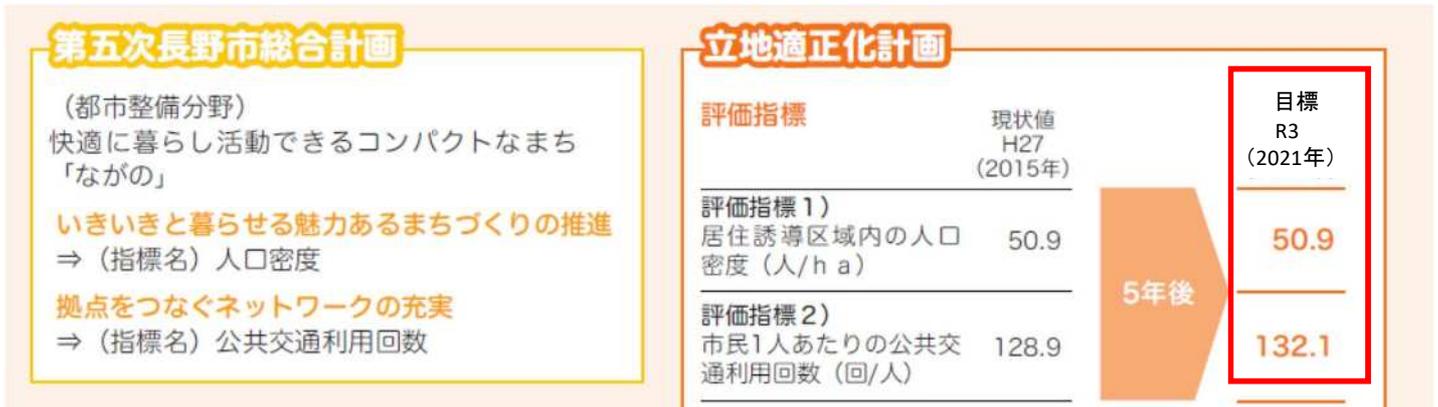
① 現行計画における各誘導施策の評価・検証

目的	誘導施策（現行計画）	目標・評価の視点
居住を誘導するための施策	<ul style="list-style-type: none"> ● 住み替えの促進 ● 住居環境の維持、向上 ● ストックの有効活用 ● 居住地の災害関連情報の周知 	居住誘導区域外からの住み替えや市外からの移住促進 道路や歩道の整備率向上（居住誘導区域内） 低未利用地の活用促進（居住誘導区域内） 市民（地域）の防災意識の向上（市内全域）
都市機能を誘導する施策	<ul style="list-style-type: none"> ● 拠点への都市機能の整備 ● 中心市街地の機能集積の維持、強化 ● 公共施設の誘導、再編等 ● 税制、金融支援 	各拠点での公共施設・民間施設の整備 中心市街地活性化（都市機能誘導区域での整備） 都市機能誘導区域内への立地又は建替えによる再編成 民間誘導施設等整備事業計画への認定
公共交通充実のための施策	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共交通の利用促進 ● 公共交通ネットワークの再構築 ● 分かりやすく利用しやすい公共交通利用環境の整備 	交通セル、歩行者優先、ゾーン30の推進（中心市街地） 各拠点を結ぶバス路線の再構築、利用環境向上 バリアフリー化、バスロケーションシステムの導入

各施策の進捗状況について調査・分析及び評価をし、施策の妥当性を検証する

6

② 評価指標・目標値の見直し検討



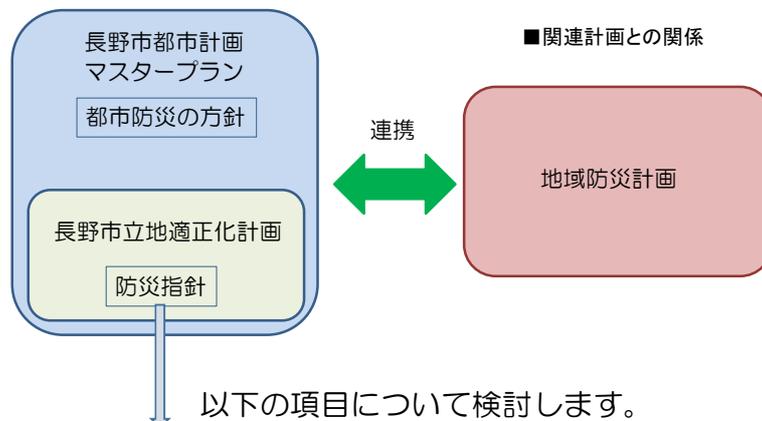
評価指標や目標数値について、誘導施策の進捗状況を踏まえ再検証します。

7

③ 防災指針の作成

近年頻発する自然災害に対応したまちづくりを実現し、立地適正化計画と防災との連携強化を図るため、都市再生特別措置法の改正により、立地適正化計画で居住を誘導する区域内で行う防災・減災対策や安全確保対策などを定めることとなった。(R2.9月施行)

そのため、治水・防災部局と連携して、都市の防災・減災の方向性について検討し防災指針を作成します。



① 災害リスク分析

- ・災害ハザード情報等の収集・整理
- ・災害リスクの高い地域等の抽出 など

② 取組方針の検討

- ・防災まちづくりの将来像を踏まえた災害ハザードに対する取組方針
- ・地区ごとの防災上の課題の整理 など

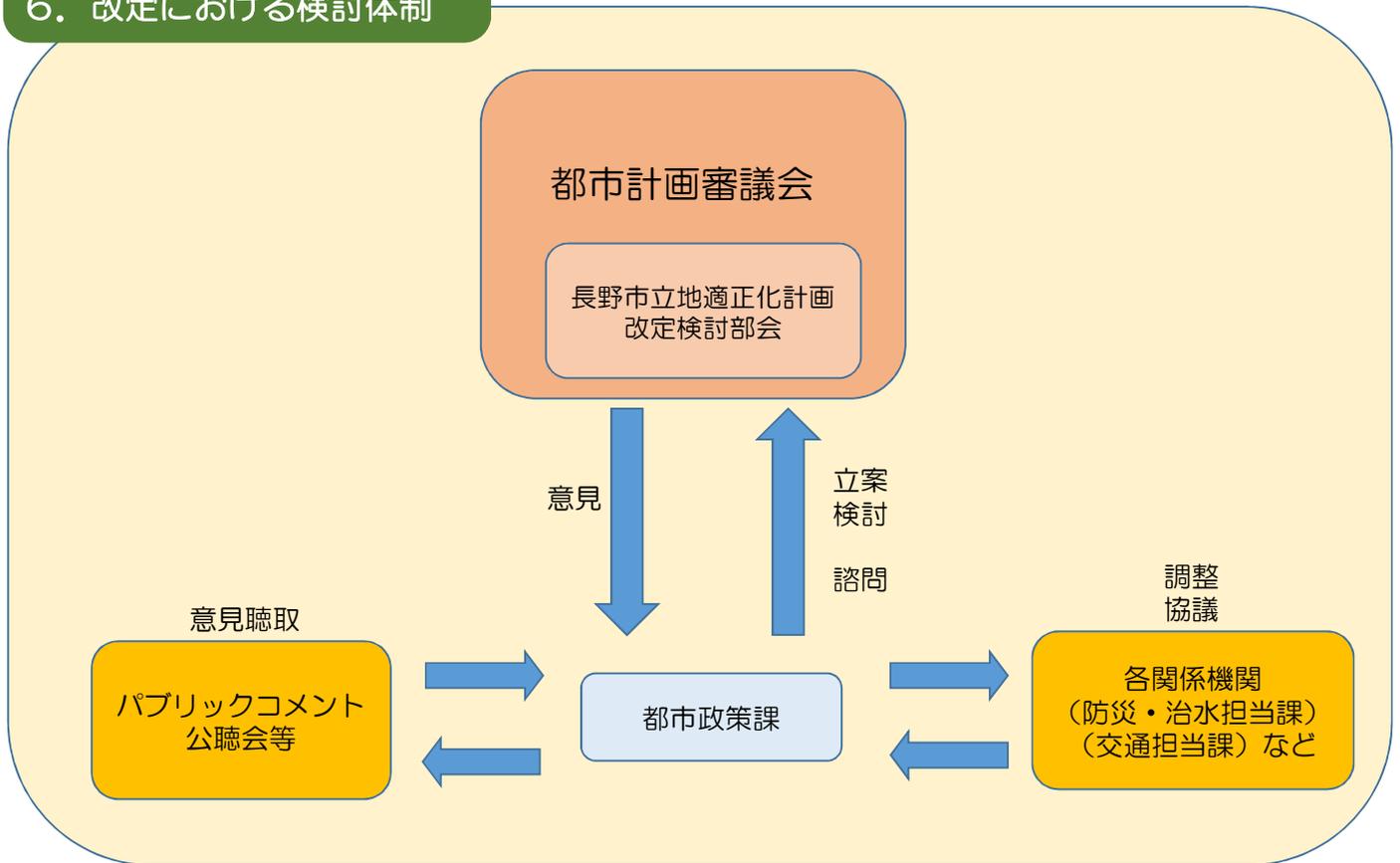
③ 具体的な取組内容、スケジュール、目標値の検討

- ・各種ハザードに対応するハード・ソフト対策の取組内容の検討
- ・取組スケジュールと目標値の検討
- ・防災指針に関連する制度の活用 など

頻発化・激甚化する災害に対して、被害を最小化するための防災・減災対策に加え、居住等の誘導を図る地域の安全を確保しつつ、都市のコンパクト化を進める

8

6. 改定における検討体制



9

7. 改定スケジュール

令和2年度			令和3年度											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
		第1回 部会		第2回 部会		第3回 部会	第4回 部会		第5回 部会	第6回 部会		第7回 部会		
		現行計画の評価・見直しの検証				見直し案の作成					素案作成	案の作成		
	都市計画 審議会 部会設置 報告				都市計画 審議会 経過報告			都市計画 審議会 経過報告		都市計画 審議会 素案報告			都市計画 審議会 案の報告	
										公聴会 パブリック コメント				
														公表

10

8. 長野市立地適正化計画改定検討部会委員名簿

区分	氏名	所属	分野
学識経験者・民間団体	築山 秀夫	長野県立大学 グローバルマネジメント学部 教授	地域社会
	酒井 美月	長野工業高等専門学校 環境都市工学科 准教授	水環境・河川
	豊田 政史	信州大学工学部 水環境・土木工学科 准教授	水環境・河川 (防災)
	川北 泰伸	清泉女学院大学 人間学部 文化学科 講師	まちづくり
	森本 瑛士	信州大学工学部 水環境・土木工学科 助教	都市計画
	江守 雅美	長野商工会議所 中小企業支援センター長	経済
	相野 律子	長野県建築士会ながの支部 まちづくり委員会副委員長	建築
	小池 一夫	長野県宅建建物取引業協会長野支部 副支部長	不動産